

## 17: HLA と移植成績

### 1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 神田 善伸	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
熱田 由子	日本造血細胞移植データセンター	
池亀 和博	兵庫医科大学病院	血液内科
一戸 辰夫	広島大学病院	血液内科
宇都宮 與	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
小川 淳	新潟県立がんセンター新潟病院	小児科
鬼塚 真仁	東海大学医学部付属病院	血液腫瘍内科
加藤 俊一	東海大学医学部付属病院	小児科・細胞移植科
川瀬 孝和	広島大学病院	血液内科
諫田 淳也	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
金 成元	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
鋤塚 八千代	名古屋大学医学部附属病院	先端医療・臨床研究支援センター
小林 武	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
高塚 祥芝	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
高橋 義行	名古屋大学大学院医学系研究科	成長発達医学
田中 淳司	東京女子医科大学病院	血液内科
玉置 広哉	兵庫医科大学病院	血液内科
辻 正徳	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
西田 徹也	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
前田 嘉信	岡山大学病院	血液・腫瘍内科
増子 正義	新潟大学医歯学総合病院	高密度無菌治療部・血液内科
松野 良介	昭和大学藤が丘病院	小児科
村田 誠	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
森島 聡子	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
森島 泰雄	愛知県がんセンター研究所	疫学・予防部
横山 寿行	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	血液内科
和氣 敦	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院	血液内科
渡邊 修大	社会保険中京病院	小児科
芦田 隆司	近畿大学医学部附属病院	血液・膠原病内科
高梨 美乃子	日本赤十字社	血液事業本部
星野 匠臣	群馬大学医学部附属病院	血液内科
屋部 登志雄	日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター	検査部検査開発課
坂本 佳奈	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
藤 重夫	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科

宮村 耕一	名古屋第一赤十字病院	血液内科
有馬 靖佳	(公財)田附興風会 医学研究所 北野病院	血液内科
近藤 英生	岡山大学病院	総合内科
吉満 誠	鹿児島大学病院	血液・膠原病内科
河村 浩二	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科

## 2. 承認研究の進捗状況(2014年1月-12月 ※JSHCT2015を含む)

17-1	「GVHDが生じるとGVL効果があるのは事実か?:血縁、非血縁ドナーからの造血幹細胞移植におけるHLA座適合度別解析」PI:森島泰雄
学会発表:第37回日本造血細胞移植学会総会(2015年3月5日-3月7日),神戸 論文業績:	
17-2	「アジア・太平洋地区におけるHLAを基盤にした人種別同種移植免疫反応の比較解析」PI:森島泰雄
学会発表: 論文業績:	
17-3	「非血縁者間骨髄移植における年代別のアレル不適合の影響」PI:神田善伸
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:済(WG研究業績一覧参照)	
17-4	「非血縁者間臍帯血移植(UCBT)におけるHLA不一致度と感染症発症頻度」PI:横山寿行
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:	
17-5	「非血縁者間骨髄移植(UBMT)におけるHLA抗原(血清型)不一致移植成績」PI:加藤俊一
学会発表:40th Annual Meeting of the European Society for Blood and Marrow Transplantation (2014年3月30-4月2日),ミラノ 論文業績:	
17-6	「Reduced intensity conditioningを用いた非血縁者間骨髄移植におけるHLA不一致の影響」PI:横山寿行
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:	
17-7	「HLA適合血縁者間移植とHLA適合非血縁者間移植におけるHLAハプロタイプ、HLA型に基づく移植免疫反応の解析」PI:森島聡子
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:	
17-8	「KIRリガンド不適合が移植成績に及ぼす影響の検討」PI:田中淳司
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:済(WG研究業績一覧参照)	
17-9	「造血幹細胞移植におけるHLA型・HLAハプロタイプ型と感染症発症頻度」PI:川瀬孝和
学会発表: 論文業績:	
17-10	「複数回造血細胞移植実施時におけるHLA適合性の検討」PI:前田嘉信
学会発表: 論文業績:	
17-11	「T細胞除去を用いないHLA不一致親子間移植においてレシピエントとドナーとの血縁関係が移植成績に与える影響の検討」PI:一戸辰夫
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:	
17-12	「非血縁者間臍帯血移植におけるHLA不適合度と移植成績」PI:熱田由子
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:済(WG研究業績一覧参照)	
17-13	「非血縁者間臍帯血移植におけるGVH方向HLA不適合あるいはHVG方向HLA不適合が移植成績に及ぼす影響」PI:諫田淳也

学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)		論文業績: 済 (WG 研究業績一覧参照)
17-14	「非血縁者間骨髄移植における年代別の高リスクアレル不適合の影響」 PI: 神田善伸	
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)		論文業績: 済 (WG 研究業績一覧参照)
17-15	「第一寛解期急性白血病に対する同種移植における、ドナー選択に関する臨床決断分析—GVH 方向 HLA—抗原不適合血縁者と HLA8/8 アレル適合非血縁者の比較」 PI: 諫田淳也	
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)		
論文業績: Kanda J, Fuji S, Kato S, Takami A, Tanaka J, Miyamura K, Ohashi K, Fukuda T, Ozawa Y, Kanamori H, Eto T, Kobayashi N, Iwato K, Morishima Y, Sakamaki H, Atsuta Y, Kanda Y; HLA Working Group; Donor/Source Working Group; Adult AML Working Group; Adult ALL Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Decision analysis for donor selection in stem cell transplantation—HLA—8/8 allele—matched unrelated donor vs HLA—1 AG mismatched related donor. <i>Blood Cancer J.</i> 2014;4:e263.		
17-16	「HLA 血清型 6/6 適合の血縁同胞とその他血縁者間移植の比較」 PI: 藤重夫	
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)		
論文業績: Fuji S, Kanda J, Kato S, Ikegame K, Morishima S, Miyamoto T, Hidaka M, Kubo K, Miyamura K, Ohashi K, Kobayashi H, Maesako Y, Adachi S, Ichinohe T, Atsuta Y, Kanda Y; HLA Working Group of Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Impact of HLA allele mismatch on the clinical outcome in serologically matched related hematopoietic SCT. <i>Bone Marrow Transplant.</i> 2014;49(9):1187-92.		
17-17	「臨床決断分析を用いた AML 第 1 寛解期における UBMT と UCBT の比較」 PI: 神田善伸	
学会発表: 第 76 回日本血液学会学術集会 (2014 年 10 月 31 日-11 月 2 日), 大阪		
論文業績: 投稿中		
17-18	「臨床決断分析を用いた ALL 第 1 寛解期における UBMT と UCBT の比較」 PI: 坂本佳奈	
学会発表:		
論文業績:		
17-19	「骨髄・末梢血幹細胞移植における GVH 方向 HLA 不適合あるいは HVG 方向 HLA 不適合が移植成績に及ぼす影響」 PI: 諫田淳也	
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)		
論文業績: Kanda J, Ichinohe T, Fuji S, Maeda Y, Ohashi K, Fukuda T, Miyamura K, Iwato K, Eto T, Nakamae H, Kobayashi N, Mori T, Mori S, Morishima Y, Atsuta Y, Kanda Y; HLA Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Impact of HLA Mismatch Direction on the Outcome of Unrelated Bone Marrow Transplantation: A Retrospective Analysis from the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. <i>Biol Blood Marrow Transplant.</i> 2015;21(2):305-11.		
17-20	「血縁者間同種移植における 1 抗原型不適合と 1allele 型不適合の比較」 PI: 藤重夫	
学会発表: 40th Annual Meeting of the European Society for Blood and Marrow Transplantation (2014 年 3 月 30-4 月 2 日), ミラノ		
第 76 回日本血液学会学術集会 (2014 年 10 月 31 日-11 月 2 日), 大阪		
論文業績: 投稿中		
17-21	「レシピエント HLA-C が、ドナー CTL と NK 細胞にとって、一致であるか不一致であるかの違いが、同種移植成績に及ぼしている影響」 PI: 有馬靖佳	

学会発表: 第 37 回日本造血細胞移植学会総会 (2015 年 3 月 5 日-3 月 7 日), 神戸

論文業績: 投稿中

17-22 「血縁者間骨髄・末梢血幹細胞移植における HVG 方向 HLA 不適合が移植成績に及ぼす影響」 PI: 諫田淳也

学会発表: 第 37 回日本造血細胞移植学会総会 (2015 年 3 月 5 日-3 月 7 日), 神戸

2015 Tandem Meetings (Feb 11-15, 2015), San Diego, USA

論文業績:

### 3. 会議開催記録 (2014 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
2014/7/5	名古屋第一赤十字病院	定例会議(各研究の進捗状況確認)

### 4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2014 年 12 月末時点まで)

(1054)回

### 5. WG の今後の活動方針・抱負など

HLA-WG ではこれまでに 22 件の研究が提案された。H26 年度は 2 回の定例会議の開催に加えてメーリングリスト上でも活発な討論が行われ、メーリングリストの発言件数は既に 1000 件を超えている。H26 年になってから学会発表、論文発表数の増加が持続し、国際専門誌に既に 8 つの論文を発表した(この他に Source-WG との共同研究を 1 本発表済み)。データクリーニング用の R および Stata のスクリプトは毎年のデータセットにあわせて更新しながら造血細胞移植学会のホームページで公開しており、全 WG で利用することが出来る。これらのツールを活用して、今後はさらに多くの研究が展開していくことが期待できる。